

科名：メカトロニクス技術科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	コマ/週
教育訓練課程	専門課程	コンピュータ基礎Ⅱ	必須	3期	2	2
教科の区分	系基礎学科					
教科の科目	情報工学概論					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
各業界での業務文書作成能力。						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
文書作成の関連知識を学びます。	①	文書データ処理の文書データの作成について知っている。				
	②	文書データ処理のプリンタの設定と印刷について知っている。				
	③	文書データ処理の図形描画及び挿入について知っている。				

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	コンピュータ基礎Ⅰで得た知識(コンピュータの仕組みや基本操作など)を見直しておいてください。
授業科目についての助言	企業では、コンピュータで作成した各種書類や資料、図面等がごく普通に扱われており、コンピュータを道具として使いこなすことは、専門的な職務をおこなううえでも必須となっています。コンピュータを使って書類等を作成するには、各種アプリケーションソフトの操作上の思想を把握することがポイントになります。また、意図する書類等を十分に把握し、作成後の書類データの活用も含めて、最も効果的・効率的に作成できるアプリケーションソフトを選定することは重要なことです。さらに、これからの教育訓練活動を支えるレポート、プレゼンテーション資料や総制作実習論文等をコンピュータによって効率的・効果的に作成するための能力を習得します。わからないことを積み残さないよう毎回の授業をしっかりと理解してください。本科目で習得する内容が今後の習得科目につながりますので、自分自身で学習することももちろん、わからないことは質問や討議に応じますので積極的に申し出てください。課題は必ず期限内に提出してください。
教科書	30時間でマスター Office2013(実教出版)
授業科目の発展性	<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">コンピュータ基礎Ⅱ</div> — <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">情報処理実習</div>

評価の割合(例)								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
評価割合	授業内容の理解度				90		10	100
	技能・技術の習得度				50			
	コミュニケーション能力				40			
	プレゼンテーション能力							
	論理的な思考力、推論能力							
	取り組む姿勢・意欲						10	
	協調性							

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	1. 文書データ (1)文書作成ソフトの操作 ①起動と終了 ②文字の入力 ③文章の入力 ④入力の訂正 ⑤ファイルの保存と読み込み ⑥ページ設定 ⑦印刷 ⑧移動とコピー	実習、質疑	時間内に課題演習が終わらなかった場合は、次回までに終わらせてください。
2週	(2)文書データの作成 ①基本的な文書の構成 ②右揃え・左揃え・センタリング ③文字サイズの変更 ④文字の拡大と縮小 ⑤下線 ⑥網掛け	実習、質疑	時間内に課題演習が終わらなかった場合は、次回までに終わらせてください。
3週	(3)表を活用した文書の作成 ①表の挿入 ②表に文字を入力する ③表の幅の調整 ④表内のセンタリング ⑤表内の均等割り付け	実習、質疑	時間内に課題演習が終わらなかった場合は、次回までに終わらせてください。
4週	(4)表の編集 ①行の挿入 ②行の削除 ③セルの結合 ④セルの配置 ⑤線種の変更 ⑥罫線内の網掛け ⑦表のスタイル ⑧表のプロパティ	実習、質疑	時間内に課題演習が終わらなかった場合は、次回までに終わらせてください。
5週	(5)画像を活用した文書の作成 ①文字の入力 ②ワードアートの利用 ③クリップアートの利用 ④図のスタイル ⑤クリップアートの配置 ⑥図形の利用 ⑦ページ罫線の利用	実習、質疑	時間内に課題演習が終わらなかった場合は、次回までに終わらせてください。
6週	課題演習	実習、質疑	時間内に課題演習が終わらなかった場合は、次回までに終わらせてください。
7週	課題演習	実習、質疑	時間内に課題演習が終わらなかった場合は、次回までに終わらせてください。
8週	課題演習	実習、質疑	時間内に課題演習が終わらなかった場合は、次回までに終わらせてください。
9週	課題演習	実習、質疑	ここまでの理解度を確認し、苦手な所を復習してください。